

熊本県 肉用鶏で高病原性鳥インフルエンザ (H5亜型)発生の疑い 確認！

平成26年4月13日、熊本県の肉用鶏で高病原性鳥インフルエンザ(疑似)が確認されました。

1. 農場の概要

発生疑い農場、球磨郡(くまぐん)多良木町(たらぎまち) 約 5万6千羽 飼養、
飼養者が同じ農場、同郡相良村(さがらむら) 約 5万6千羽 飼養。

2. 経緯

- (1)12日午後、熊本県は、死亡鶏増加等の通報受け、立入検査実施。
- (2)インフルエンザ簡易検査で死亡鶏5羽中5羽陽性。
- (3)当該農場に対し、家きん等の移動制限を指示。遺伝子検査実施。
- (4)13日、遺伝子検査の結果、H5亜型を確認。

3. 今後の対応

- (1)当該2農場の家きんの殺処分及び焼埋却。
- (2)半径3km以内の移動制限、半径3~10km以内の搬出制限設定。
- (3)速やかな発生状況調査、農場周辺の消毒強化、消毒ポイント設置。

ウイルスを持ち込まない！
持ち込ませない！



 野鳥、野生動物などの鶏舎への侵入を防止。

 農場、鶏舎の出入口での消毒の徹底。

韓国・アジアでは、依然続発
(発生状況地図参照)

 関係者以外の農場への立入制限・発生国への渡航の自粛。

 入退場する人や車両についての
記録・消毒の徹底。



※過去21日間の平均死亡率の2倍を超える死亡があった場合等、異状
を発見した場合には、すぐに家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎 電話
0577-33-1111)まで連絡してください。

※平日時間外(午前8時30分~午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、
「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」
の案内メッセージに従って対応をお願いします。



飛騨家畜保健衛生所
TEL(0577)33-1111 FAX32-9019
E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo/kachikueisei/hidakaho/>

